

平成 30 年度 第 1 回学校運営協議会記録

1. 日 時 平成 30 年 5 月 14 日(月) 14 時 20 分～15 時 50 分
2. 場 所 本校校長室
3. 出席者 学校協議会委員(出席 5 名・欠席 1 名)
大阪教育大学教授 廣木 義久
八尾市立八尾小学校長 木下 由季
八尾市内学習塾代表 児玉 隆
本校同窓会副会長 松村 康隆
本校 PTA 会長 重村 吉則
4. 協議概要 協議に先立って、授業観察、「学校運営に関する基本的な方針」の確認、学校経営推進費プレゼンテーション、今春の進路状況に関する報告を行いました。以下、協議において出席委員から出された主な意見等です。

(進路指導について)

- 大学進学のみならず、将来を見据えた指導をするという方針は評価できる。進路状況の報告で、私立大学が合格者数を絞っている現状や、現役生だけでなく、第一志望を堅持して浪人中の生徒も頑張っているという状況についてもよくわかった。
- 文武両道で頑張っている八尾高は、面接やポートフォリオの活用が促進されるこれからの大学入試に強みを出せるはず。

(広報活動について)

- 大学で学生を見ていても、スポーツなど課外の活動で頑張っている学生は、成績も良い傾向にある。小さい頃から時間を上手に管理する習慣を身につけて、勉強も頑張ることができているからではないか。このような文武両道を実践できている中学生をもっとしっかり取り込むことができると、さらに八尾高校の文武両道も盤石なものになる。
- 中学生は模試の判定などで、学習成績を重要な判断材料として進学する高校を決めてしまう傾向にある。高校側としてはもっとアピールポイントを強調して広報すべき。学校経営推進費でスタッキングテーブルやパーティションが入れば、アクティブラーニングが進むと思うので、そのようなことも上手に広報すべき。私学は上手にやっている。

- オープンキャンパスなど、中学生やその保護者が八尾高校へ来る機会を捉え、楽しく充実した高校生活を送ることができるという実際の姿を知ってもらうことが重要ではないか。

(その他)

- 授業も観察したが、勉強だけでなく、部活の方でも近畿大会や全国大会への出場が増えており、頑張ってくれているようで結構だ。さらに、勉強や部活だけでなく、時間の使い方や生活習慣などもしっかり指導していただければより人間的な成長が期待できる。
- クラブの公式戦で、八尾高生がみんなで応援する姿は清々しくてよかった。試合の応援をさらに盛り上げるために、横断幕などが必要であれば、同窓会として支援する用意はある。
- 現在もやっているとのことだが、小学校と交流する機会を増やしてもよいのでは。小学校としてもキャリア教育の一環として取り組めるし、高校生にとっても地域との連携活動として良い経験になることは間違いない。
- 春などは長瀬川沿い桜も素晴らしいので、近隣の一般の方にも見てもらう機会がつかれるとよいのでは。
- 各教室に導入するプロジェクターを色々な教科で使ってもらえるとよい。様々な使い方を試し、そのノウハウを共有してもらいたい。